

第2回 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会

日 時：平成31年1月20日（日）午後1時から午後3時53分まで

場 所：土淵地区活動センター（体育館）

出席者数：土淵地区等住民 89名

司 会：古舘市長公室長

- 1 開 会
- 2 副市長挨拶 柴田副市長
- 3 土淵地域活動推進協議会長挨拶 大坪長四郎会長
- 4 懇 談

発言者	内 容
	資料1「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」
市長公室長	<p>資料1を御覧いただきたいと思います。</p> <p>資料1の項目の大きな1番となります。「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり」ということで、「(1) 地域からのまちづくり要望の概要」として表にまとめています。前回の懇談会と同様の資料になっていますので、おさらいとなります。5月の懇談会で地域の皆様の方から、「土淵地区の均衡ある発展計画を明らかにすること」ということで、要望項目にありますように、新駅の前潟地区への設置、それから道路網の整備というようなことで交通対策、それから土地区画整理事業跡地の土地利用ということで、跡地をどう活用して行くかの具体化の要望を頂いています。</p> <p>(2)として、要望に基づく「まちづくり」の取組ということで、市の考え方になります。市は都市計画のマスタープランを定めており、地域別にまちづくりの方向性を示しています。この地区については、「ふるさとの懐かしさが感じられる賑わいのあるまちづくり」ということを目標として、①「快適な住環境」、②として「活気とふれあいのあるコミュニティづくり」、③として「交通施設の充実」を基本的な方針としています。</p> <p>地域から3項目の要望ということで出されていますが、こういった要望は、市のマスタープランのまちづくりの方向性に、ぴったり合うものだと考えていることから、地域の皆様との話し合いを重ねながら、ふれあい、それから賑わいのあるまちづくりを、市といたしましても進めたいと考えています。</p>
建設部長	<p>資料1の2「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくりメニュー」について説明いたします。</p> <p>資料2の図面により説明しますので、図面を御覧ください。</p>

まずは、新駅の場所ですが、図面の中央に赤い小さい楕円で概ねの位置を示しています。図面下から来る盛岡西バイパスが国道46号を越えてそのまま北へ進んだ箇所を想定しています。

図面右枠の黒枠内の「1 新駅構想について」で概要説明を載せています。新駅設置によって周辺の賑わいを創出し、地域拠点化したいと考えています。

主な施設ですが、ホーム、駅舎、これは待合室になります。駐輪場、トイレ、一般車の乗降所といった駅前広場を考えており、利用方法としては、既存市街地のある南側からの出入りとしします。

また、公共交通の利用促進ということで、新駅を中心としたバスルートの再編も検討したいと思っています。

新駅については、これまで地元の皆様から要望も受け、調査検討を行ってきました。

調査結果では、必要な乗車人員が見込まれ、事業効果も十分にあるものと推計されています。ただ、大きな事業費の確保といったものが課題となっているところです。

続いて交通対策です。

資料2の図面では、左上の黒枠内で「2 都市計画道路について」で説明していますが、図面上では「青線」、「黒線」が既存の幹線道路です。赤の「破線」が現在未整備の都市計画路線です。この未整備路線の中から必要な路線について、平成33年度以降の新たな都市計画道路整備プログラムへの位置付けを検討し、整備を図っていききたいと考えています。

都市計画道路については、膨大な事業費がかかることから、計画的に進めるために10年間の都市計画道路整備プログラムを策定しています。現在のプログラムが平成32年度までですので、33年度以降の新プログラムの策定の中で、皆様の要望も踏まえながら位置付けを考えていききたいと思っています。そうすることによって、既存道路を含めた道路網を強化して渋滞解消に繋げていければと思っています。

続いて、図面黒枠の「3 通学路の安全確保について」です。

これまで、土淵小学校通学路の安全確保のための歩道整備を実施してきましたが、今後、市道西青山一丁目上厨川2号線の未整備区間について歩道新設を進めていききたいと考えています。図面では中央の緑色の破線箇所となります。

次に図面黒枠「4 (仮称)北バイパスについて」です。

資料3の航空写真の図面がありますので御覧願います。

下から国道46号盛岡西バイパスをそのまま、まっすぐ北上する赤の破線

が構想路線となります。右上にありますとおり「盛岡広域都市圏道路網基本計画」に位置付けられています。渋滞解消に大きく寄与するものと期待されます。路線の具体は決まっておりませんが、国道46号と鉄道を横断して諸葛川の西側を北上し、国道4号へ繋がるものと考えます。国による整備になることから、滝沢市とも連携して国へ整備の要望を行っていきたいと考えています。

続いて、前回の第1回懇談会11月16日ですが、そこでの主な御意見、御質問についてです。資料6にまとめております。資料6を御覧ください。

開いて1ページ目です。「(1) (仮称) 前潟駅の新設」ですが、下の表のところに御意見、御質問を記載しております。「①駅を整備する際の費用は、どのように確保するのか」、「②駅の新設について、まだ情報を知らない方もいるので、説明してほしい」といった御意見、御質問を頂きました。

2ページになります。

①の「整備費用の確保」につきましては、これまで地元の皆様からの要望も受け、様々な調査を行ってきたところであり、必要な乗車人員が見込まれ、事業効果も十分であると推計されています。新駅整備に要する費用は、総事業費が約11億円と大きく、市のお金だけではなく、国の補助金などを活用しながら整備を進めてまいります。また、市全体の中で検討しながら、早期に整備できるよう進めてまいります。

②の「新駅の情報を知らない方もいるので説明してほしい」については、具体の場所など、駅の新設に関する情報などについては、地域の皆様への説明が必要と考えています。全体のまちづくりの中で検討しながら、整備事業の進捗に伴いまして、地域の皆様に説明してまいります。

続いて、3ページの「(2) 交通対策」については、「①計画道路すべての整備は難しいと思うので、一部区間だけでも整備を進めてほしい」、「②土淵地区内の渋滞状況も考慮した上で、道路整備等を検討してほしい」といった御質問、御意見を頂きました。

次の4ページになりますが、①の都市計画道路の整備については、「盛岡広域都市圏将来道路網基本計画」における計画路線の未整備路線の中から、必要な路線について、平成32年度に策定を予定している新たな整備プログラムの位置付けを検討し、整備を図ります。

また、渋滞対策については、駅の新設によって、鉄道等の公共交通利用の促進を図りながら、削減に努めてまいります。

②の「土淵地区内の渋滞状況も考慮した上で、道路整備等を検討してほしい」については、整備が必要な路線の選定については、新プログラム策

	<p>定の中で、渋滞調査など様々な検討をしながら行ってまいります。</p>
<p>都市整備部長</p>	<p>資料1の2の「(3) 上厨川土地区画整理事業跡地の土地利用」について説明します。</p> <p>上厨川地区土地区画整理事業ですが、施行の面積、約27ヘクタールの土地に対して、平成17年の4月に組合設立の、市への認可の申請がありました。その後、盛岡市の開発審査会の審査を経まして、平成17年の6月に組合設置の認可が下りました。</p> <p>しかし、その後、事業の資金繰りなど、色々のことがあり、事業期間の平成22年6月を過ぎても事業が完了しないことから、役員さん達と、組合の元理事さんの意見交換会や考える会等も複数回開催しながら、今後の方向性について検討してきました。</p> <p>平成27年度には、区画整理によらない開発も前提に、解散についても、方向性について検討するという事で、平成28年1月には、地権者に対しての説明会等も開催しました。平成28年10月に組合の元理事長さんや副理事長さんから、市の方へ「事業の終息のお願い」といった文書も提出され、その後、市の検査等を、実施したところ、組合の継続は難しいことから、平成29年2月に組合設立の認可の取消しになりました。</p> <p>しかし、当地区については、国道46号や東北自動車道などの、交通の要衝に隣接した地域といった、地域の特性もありますので、その土地利用をしっかりと推進して、市及び盛岡広域圏の経済活動の活性化を図っていきたい。また、土地利用の推進に併せて、道路改良などのインフラの整備も実施しながら、環境改善を図っていきたいと考えています。</p> <p>お手元の資料4を御覧ください。土地利用のひとつの例でございます。</p> <p>例えば、ここ地区にエネルギー利用の施設が建設された場合には、それらのエネルギー供給を活用しながら、防災ステーション等の防災拠点のエリアとか、多目的広場等のふれあいのエリアとか、また、先ほども申しましたとおり、交通の要衝ですので、物流倉庫等の工業流通系エリアとか、そういったものが考えられると思います。</p> <p>引き続きまして、前回の懇談会の際に、皆様から頂いた意見等についておさらいしたいと考えています。</p> <p>資料6の5ページを御覧ください。</p> <p>こちらの方に、「地区計画」の策定による総合的な整備に対する、様々な御意見、御質問を記載しています。大きく分けて、5点あったと思います。</p> <p>まず1点目としては、「速やかに用途変更の手続を行い、『市街化調整区域』から『市街化区域』への編入を進めてほしい」といった要望があり</p>

ました。当地区においては、組合による区画整理が始まる以前から、「市街化調整区域」になっています。認可取消後も、施行中も含めまして、「市街化調整区域」というところには変更はありません。

事業中については、工業流通系のものを引き込みたいということで区画整理事業を進めてきましたが、現状では「市街化区域」への編入は、土地利用の現状を見ますと極めて困難と考えています。

2点目としては、「市が何の指導も無く認可取消を行ったのは、焼却場ができるからということなのか」という質問ですが、市としては、組合に対しまして、先ほども申しましたけども、7ページに、これまでの事業認可取消の経緯を記載していますが、組合からの申し出とか、法令による手続を進めてきた結果としまして、組合設立の認可の取消になったところであり、ごみ焼却場があるなしは、全く関係ないということです。7ページに、時系列で認可取消に至った理由とか、色々な手続について記載していますが、市に平成28年10月に「事業収束のお願い」が出されてから、平成29年2月に土地区画整理の事業認可の取消となりました。ごみ焼却場が4か所に絞られて、皆さんに公表されたのは平成29年5月と記憶していますが、それ以前から、認可の取消しの手続は行ってきました。

3点目としては、「組合の債務が残っている中で跡地の開発は考えられないではないか」という質問です。

跡地の土地利用については、市街化調整区域なので、開発については一定の規制があります。農業用の施設等の建設は可能です。その他については一定の規制がありますが、「公共施設」の整備とか、「地区計画」に基づくまちづくりであれば、土地利用は可能です。

債務についても、組合の債務ですので、法人である組合が責任を負うもので、組合員個人に組合の債務の返済義務はありません。ただし、組合の総会の中で賦課金等の徴収が議決された場合には、生じる場合もありますが、基本的には組合の債務は組合員個人に返済の義務はないので、跡地の開発には支障がありません。

それから、組合債務は、清算人が積極的に債務処理に努めるべきではないかといった意見もありました。

そのとおりでありまして、債務の処理は清算人、今現在は、旧理事の方々が努めていますが、清算人の職務に変わりないところではありますが、市としても、組合を認可した立場なので、清算人と一緒になって債務の処理に当たってまいりたいと考えています。

5点目の「防災上・防犯上、このままにしておく訳にはいかない」といった意見です。

	<p>市としても、そのように考えています。地域の皆様からも生活環境の改善を早急に求める要望が寄せられていますし、土地利用に併せた環境改善対策が必要と考えています。今現在は、農地、畑であったところの未耕作の部分に、草木が、だいぶ大きく繁茂しておりまして、火事とか、昨年等は熊が出たとか、そういうところの被害も出ていますので、今のままにしておく訳にはいかないと考えています。また、生活排水等による悪臭とかもありますので、下水道も、すぐ近くまで幹線が来ていますので、それらの整備も含めて進めてまいりたいと考えています。</p>
<p>環境部長</p>	<p>資料1では、「(3) 上厨川地区土地区画整理事業跡地の土地利用」についての中の「イ」の「廃棄物エネルギーの利活用による地域振興」について説明します。</p> <p>資料5を御覧願います。</p> <p>表紙の写真は、2017年4月に竣工した東京都武蔵野市の「武蔵野クリーンセンター」です。</p> <p>施設の目の前に市役所があり、また、周辺には、地域のコミュニティセンターや、野球場、中学校、総合体育館などが立地している中で稼働しています。</p> <p>最新鋭の設備を導入し、環境の保全に配慮した安全・安心な施設として運営しているのはもちろんですが、周辺の景観に合わせた雑木林をイメージした外観となっており、「まちにとけこみ、まちにつながる武蔵野クリーンセンター」を目指しています。市役所やコミュニティセンター、学校など周辺の公共施設に「電気や蒸気」を供給して、「地域のエネルギー供給拠点」として位置付けられているほかに、防災拠点としての機能を備えている施設です。</p> <p>また、定期的に「エコ」にちなんだ市民協働イベントを開催して、家族連れや市民の方で賑わっていて、地域と一体となった取組を行っていることも特徴のひとつです。</p> <p>本日は、こちらの地域のふれあい、賑わい、そして、魅力あるまちづくりに、廃棄物エネルギーを活用している事例などを紹介するほかに、昨年11月の御意見、御質問についても説明します。</p> <p>次に、資料5の2ページ目を御覧ください。</p> <p>エネルギーはどのようにして作られるか、そして、その仕組みですが、イラストを使って説明いたします。</p> <p>燃やすごみは焼却施設で処理するわけですが、その際に発生する「熱」を利用して蒸気を発生させて、その蒸気を利用して、発電機を回して電気を作ることが可能になります。</p>

これはイラストの通り、お湯を沸しますと、やかんの口から蒸気が発生しますが、これで風車を回すようなイメージです。

ほかには、発生した蒸気をそのまま利用したり、または温水として利用したりする方法もあります。

新しく整備しようとする施設では、どのくらいのエネルギーを作ることができるのかについてですが、電気の場合は、約9千から1万キロワットの発電を想定しています。参考までに一般家庭ですと、施設そのもので使ったほかに約1万2千から1万5千世帯くらいの消費電力に相当します。

熱については、施設の方で使用しますが、それ以外に、例えば園芸ハウスで使う場合には、1万平方メートル分くらいの熱量には相当すると言われています。

なお、施設の大きさについては、この後詳細に検討しますので、ここに記載の数字については、若干、お手元の資料とは変わってくる場合がありますので、御了承願います。

次に、3ページ目です。

事例を2つ説明します。上の方が、生駒市の「生駒清掃センター」です。温水による熱利用です。暖房などに利用しているほか、近隣のレジャー施設へ供給して、このエリアについてはアスレチックや学習・文化・レクリエーションの場や、宿泊棟や研修室、浴場やレストランなど兼ね備えています。

事例2は、「武蔵野クリーンセンター」です。表紙にありましたように、施設で発電した電気やエネルギーを使いますが、そのほかに、右側の図にも、「コジェネレーション」という設備があります。万が一、地震などにより焼却施設の運転が停止した場合でも、「都市ガス」を燃料とする設備で、電気と蒸気が発生させて、災害に強い施設となっています。

次に、4ページ目です。

施設の運営の関係ですが、私たちの健康と生活環境を守る上で維持することが望ましい「環境基準」と、焼却施設そのものに対する「排出基準」というものが法律で決められています。

現在の施設でも、この基準値以下になるように国の基準とは別に定めた独自の基準を設定するなどして運転管理を行っているところもあります。

盛岡市のクリーンセンターにおいても、さらに厳しい基準値を定めて、排ガス対策や悪臭対策など、各種安全対策を徹底していますし、このほかにも地域の方々が入った協議する組織を設けて運営し、排ガスの数値も表示板に公表して常時見ていただけるようになっています。

最新の技術による設備を導入した安全対策はもちろんですが、環境学習

の機会の場の提供や、地域の防災拠点としての機能を備える作りが多くなってきておりまして、このような形をもって運営に努めていくものと考えています。

次に、資料6の10ページを御覧ください。

主な御質問、御意見の関係です。10ページに一覧としまして、第1回の懇談会で寄せられたものを整理しています。本日、説明するのは、①から⑥までの6項目になりますが、これ以外にも、もちろん御意見、御質問がありました。複数の方から頂いたということで同じ内容の部分がありましたので、まとめていますので御了承願います。

具体的には11ページ以降になります。

11ページでは、「なぜ、焼却施設を1つに集約して、広域で処理するのか」についてです。

8市町では、共通課題として資料にありますように「施設の老朽化」や、「財政負担」、「施設規模の見直し」に対応していきたいです。

現在の焼却処理は、盛岡市の場合は合併前の区分により、旧盛岡地域はイラストにあります⑤のクリーンセンターで処理しています。玉山地域は岩手町と一緒に③の施設、都南地域は紫波町、矢巾町と一緒に⑥の施設で処理しています。ほかは、葛巻町は①の施設、八幡平市は②の施設、滝沢市と雫石町と一緒に④の施設で処理を行っています。

元々の広域化のきっかけに国や県の計画はありますが、各自治体でも老朽化施設の建て替えの時期等について考えてきておりまして、8市町で、現在の施設を建て替えたほうがいいのか、集約して広域で処理したほうがいいのか比較検討した結果、下の方のグラフでお示しするように、費用、環境負荷の両方の面で効率的な1施設集約の方向性を平成27年1月の会議で判断しました。

次は、12ページになります。

「施設や運搬車両からの排気ガスがぜん息や公害の原因になっているのではないか」、まとめさせていただくと、このような部分があったと思います。前段の資料5の中でも「環境基準」と「排出基準」については、一旦説明していますが、繰り返しになりますけど、施設の運営の関係については国の法律で、このように環境基準、排出基準が定められています。

国の基準よりもさらに厳しい基準ということで、「自主基準」がありまして、盛岡市クリーンセンターでも自主基準以下になるように運転管理を行っています。

次に、13ページを御覧ください。

こちらの表は、ごみを焼却する際に発生する「排気ガス」に含まれる

「有害物質」と、その除去方法などについてまとめたものです。

焼却施設の中では、ごみを焼却して発生する排気ガスが大気中に排出されるまで、どのように有害物質が処理されているのかをまとめたものが、下の方のイラストになります。

「①」の焼却炉の部分では、ごみを800℃以上で2秒以上焼却し、ダイオキシン類の発生を防止します。

その後、「②」の減温塔で排ガスを200℃以下に急速に冷却して、ダイオキシン類の発生を防止しています。

次に「③」のところでは、消石灰などにより排ガス中の塩化水素や硫黄酸化物等を中和しています。

次に「④」のところでは、ろ過式集じん器というバグフィルターを通すことで排ガス中のダイオキシン類を含んだばいじんを除去し、最後に「⑤」の誘引送風機で処理系統全体を負圧にして、排ガスの漏えいを防止しています。

次は、14ページになります。

施設の中で排ガス処理を行って、大気中に排出しているものが実際にどのくらいの数値になっているのか、盛岡市クリーンセンターの測定値をまとめたものになります。

表の左から順に「有害物質の項目」、「国の基準」、「自主基準」、実際に測定している「平成29年度の測定値」になります。

朱書き部分が測定値になりますが、国の基準、自主基準よりも少ない結果となっています。

下の表では、新しく稼働している全国の焼却施設の事例になりますが、国の排出基準よりもさらに低い数値で自主基準を設定し、実際の測定結果については、どの施設でも自主基準よりも少ない結果となっています。

次に、15ページになります。

こちらは盛岡市クリーンセンターで行っている施設周辺の環境モニタリングです。

先ほど説明しました排出基準や自主基準は煙突から排出される前の数値に対して、こちらは、煙突から排出された後の影響について、大気や水質などの状態を風向きなども含めて測定しています。

なお、調査項目や頻度などの詳細は、施設周辺の町内会と締結した公害防止協定に基づき決定したのものになります。

「焼却施設から生活環境等に影響する有害物質が出ているのではないか」という御質問を頂いていますが、焼却施設周辺と施設が無い盛岡市内の大気中の測定結果を比較したのを見ますと、施設周辺においては、施

設建設前の測定結果を比較してみても、施設周辺は国の基準を大きく下回っている結果となっています。

次は、16ページになります。

大気中のダイオキシン類濃度測定について、市内の一般的な環境にある地域の津志田と、市のクリーンセンター周辺地域の測定結果を比較したのになります。ほとんど差が見られない状況になっています。

また、下の表では、「焼却施設周辺の学校は、ぜん息にかかっている割合が高い」という御意見に対して、実際に統計調査の結果を掲げています。

盛岡市クリーンセンター周辺と土淵地区、また、盛岡市内、岩手県、全国のそれぞれの平均を小中学校別にまとめたものになります。

調査結果では、施設がぜんそくの直接原因となっていると特定するのは難しいものと考えられます。

なお、総務省が設置する「公害等調整委員会」という組織がありますが、焼却施設が公害や健康被害の直接の原因と認められた事例報告はございません。

次は、17ページになります。

増加が見込まれる搬入車両台数578台についてですが、現在、盛岡市のクリーンセンターでは、受入時間を午前9時から午後4時までに設定しており、1日の搬入車両の約6割は午前中に搬入されている状況です。

こちらのグラフは、国土交通省による平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の結果になりますが、国道46号の時間帯別交通量に、増加見込台数の578台をクリーンセンターの時間帯別の割合で按分したものを加えたものになります。

「搬入車両の受入時間の設定」につきましては、施設の受入時間を定めることで、搬入車両が通勤・通学の時間帯に影響を及ぼさないようにすることとか、道路につきましては、焼却施設へ搬入してくる際のルートは団地内を通行することがないような検討。そして、このページの右下になりますが、環境配慮型の車両の導入についても、ハイブリッド車や、今年の2月から実施予定としている川崎市の例になりますが、電気を使ったパッカー車などの導入を検討し、環境負荷を軽減しようとしています。

なお、盛岡市クリーンセンター付近においては、搬入車両が原因となる交通事故は平成10年4月の施設稼働以来、確認されておりません。

次は、18ページになります。

③説明会の対象範囲の関係です。「最初から土淵地域全体にしなかったのはなぜか」といった御質問でしたが、県央ブロックごみ・し尿処理広域

化推進協議会では、岩手県の通知を参考にしまして、4か所の整備候補地に対して、整備候補地から半径500メートル内に住居がある町内会を対象としてスタートしましたが、盛岡インターチェンジ付近の場合は「上厨川自治会」と「前潟自治会」となります。説明会の中で、土淵地域全体を対象にという御意見、それから平成30年5月に開催しました「土淵地区まちづくり懇談会」では「均衡あるまちづくり」についての御要望が寄せられたことなどを踏まえ、土淵地域活動推進協議会様と御相談させていただきながら、地域全体を対象とした説明会を開催する経緯になりました。

次は、19ページになります。

「焼却施設が、ふれあいや賑わいのあるまちづくりに貢献するのか、理解できない」という御質問でした。地域の皆様とまちづくりを検討する際には、余熱利用施設、それから周辺施設に焼却施設で発生するエネルギーを利用することが可能になることから、焼却施設が「エネルギー供給拠点」として貢献できるほかに、施設見学等を通じて環境学習の機会の場の提供、それから全国事例でも御説明したように東京都の武蔵野クリーンセンターのような「地域の防災拠点」とすることなども、地域の振興やまちづくりに貢献できるものと考えています。

次に、20ページです。

「秋田市の施設案内」についてです。上の地図は秋田市になりますが、右下の丸囲みが秋田市の焼却施設です。ここは、焼却施設のほかにビンや缶などの資源化処理を行う施設や、埋め立てを行う最終処分場もあり、「秋田市総合環境センター」という名称です。

この場所から北西の方向約1.8キロメートル離れたところにイオンなどの商業店舗、それから住宅地、学校、保育園、幼稚園、高速自動車道があるような立地環境になっています。

それに対して、下の地図は、こちらの盛岡インター付近の状況ですが、商業店舗や高速自動車道、学校、保育園などの立地環境は、秋田市と共通している部分もありますので、「秋田市総合環境センターの視察」について実施したいと考えております。

日程とか案内の詳細については、後ほど、推進協さんと相談させていただきながらと考えていますが、いずれ実施をさせていただければと考えていますので、よろしく申し上げます。

最後に、21ページです。

「ごみ処理施設建設の反対署名」についての御意見があったと思います。提出された要望書の主旨については、こちらにあります4項目のとおりですが、この中にありますように、施設の設置に伴う影響を心配される

	<p>ことが挙げられています。</p> <p>なお、環境影響等への部分につきましては、先ほどから、お話をさせていただいていますが、懇談会の中でも御説明させていただきながら、今後におきましても、機会を捉えて、地域の皆様に御理解を深めていけるように努めてまいります。</p>
	<p>質疑応答</p>
参加者 A	<p>資料6の6ページですけども、これ、私が言ったことです。</p> <p>市街化調整区域から市街化区域へ編入してほしいというのは、前回の時に言ったことです。</p> <p>市街化調整区域の場合は、まちづくりの開発ができないのではないかとということが記憶にあります。</p> <p>この回答の中には、市街化調整区域においても地区計画の手法を活用すればできるとありますが、調整区域のままでそのようなことができるのか。業者が入って造成工事をして、土地の、何と言いますか、住宅地に、そのようなことが可能かどうか、その辺についてお伺いしたいと思えます。</p> <p>前潟の開発の際にも、市街化調整区域ではできないということで、市街化区域に編入するために約5年、10年かかると言われていますけども、何年か、かかりました。そして、市街化区域に編入してから、区画整理組合を作って、平成11年に市街化区域に編入になって、平成12年に区画整理組合を作って、平成13年、14年と工事を進めてきたわけです。</p> <p>何よりも、市街化区域に編入するのが優先だと、私は理解していたわけで、その辺について、地区計画の手法を活用すればできるのか、どうかということですか。</p>
都市整備部長	<p>市街化調整区域であっても、一般的なお話でいきますと、農家住宅とか、農業関係用の施設であれば可能と。そのほかに、公益的な施設、例えば市町村で設置するような施設とか、あるいは先ほど説明した地区計画を策定して、このエリアは、こういうエリアにするのだよという計画を具体的に作って、具体的にどういう事業者が入ってという具体性がないと、単なる構想では駄目ですが、具体性を持った計画を地区計画として策定すれば、調整区域のままで開発が可能です。</p> <p>前潟については、土地区画整理事業にして、市街化区域に編入していますが、上厨川については、組合の施行に事業認可したのですが、調整区域のままで市街化区域にはせずに、調整区域のままで事業認可をして整備を進めてきました。</p> <p>市街化区域にするか、どうかについては、そのほかの開発の状況を見な</p>

	<p>がら、確実に開発が見込まれる時点で市街化区域に編入になるもので、必ずしも、市街化区域にしてからでなければ、そのような計画は作れないということではないことを御理解いただければと思います。</p>
参加者 A	<p>今まで、なぜ、何年も放ってきたのか。 もっと早くできたのではないか。</p>
都市整備部長	<p>開発自体は、区画整理の組合として認可していますので、開発は可能となっていました。あえて、調整区域から市街化区域にする必要は無かったため、市街化区域にはしていません。</p>
参加者 A	<p>区画整理組合を認可しておきながら、市街化調整区域であっても地区計画を作れば開発できると言っているながら、なぜ今まで放置してきたのか。 私たちは、市街化調整区域ではできないということで、市街化区域にするために何年もかかりました。 それ以降、組合を設立して、この開発をして、現在の活動センターの前、一丁目から四丁目のまちづくりをしたのです。 経費は、地権者の皆さんから土地を提供していただいて、その土地を売って、43億円の事業費をかけてやったのです。 したがって、許可さえしてくれれば、やろうとすればできるのに、放置してきたんでしょ。</p>
都市整備部長	<p>放置してきたのではなくて、平成17年に組合の認可をしました。 認可をしましたので、開発はできることになりました。事業の中止の関係とかで、事業自体が頓挫した訳ですが、開発をできるように平成17年には組合の認可は許可しています。 許可してきたのですが、事業が成り行かなくなったので平成29年2月に認可の取り消しを行いました。 認可を取消したため、ただの調整区域になってしまいましたので、開発が難しい。そこを開発するためには地区計画を新たに策定しなければ、新たに開発することができないので、皆さんと相談しながら計画を作ってまいりたいということを御説明したところです。</p>
参加者 A	<p>認可してから10年、何もしなくて、平成28年度で（認可を取り消して）。そのところが理解できないです。 そして、今度は地区計画があれば、そういうのが確定すればできると。 これは、認可取消後でもできるということですか。</p>
都市整備部長	<p>繰り返しになりますが、平成17年に組合が認可になりましたので、その開発については組合でやることになりました。 そのエリアについては開発が可能ということで、組合がやることになって平成29年まで十何年間経ったのですが、その間、当初の予定では平成22</p>

	<p>年までの予定でしたので、当初の予定通り進んでいないということから市としても色々と指導したり、勧告したり、組合に対して指導は進めてきました。組合から、組合として事業を進めていくことは難しいというお話しがあったので、認可の取消しをして、改めて組合施行ではなくて地域の皆さんと計画を作る地区計画という手法に切り替えたといったところです。</p>
参加者 A	<p>手法を切り替えた。</p>
市長公室長	<p>「組合施行」というところから、今度は「地区計画」ということに改めるということですので、「区画整理事業」が進められなかったもので、それに代わるものとして新たに「地区計画」を作って進めれば可能になるということになるものだと思います。</p>
参加者 B	<p>お願いがひとつあります。</p> <p>西峰学園、小中一貫校で開園して2年が経ちました。</p> <p>土淵地域の東側、前潟、長橋台の開発が進み、児童・生徒数が増えて学校の整備及び歩道等の整備も着々行っていただいています。</p> <p>できれば、引き続き、児童・生徒の安全のために歩道整備とか道路整備を最優先としてお願いしていきたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>意見、質問です。</p> <p>過去、いろいろあったとは思いますが、詳細まで私も承知しているわけではないのですが、やはり、これからの土淵の未来について、みんなで相談していかなければならないと思っております。</p> <p>やはり、ごみ焼却場ですけども、私が聞いている限りでは、今のところ手代森と上厨川の2地区に絞られていると思うのですが、それは間違いないですか。</p>
建設部長	<p>歩道等の道路整備については、まさしく仰っているとおりだと思います。</p> <p>小学校の安全点検を毎年やっていますが、先ほど説明しました市道の区間の西青山一丁目上厨川2号線の歩道整備が挙げられていますので、市としても積極的に整備を進めてまいりたいと考えています。</p>
環境部長	<p>候補地の選定につきましては、ごみ処理広域化推進協議会で行っています。4か所公表してからそれぞれで説明をさせていただきながら、その状況を判断しまして、実質的に、手代森、都南工業団地付近と、こちらの盛岡インターチェンジ付近、2か所について優先的に協議していこうということで、新聞の報道等では実質となっていますが、私達としては、今後も協議させていただきたい実質的な2か所の状態であるということです。</p>
参加者 B	<p>2か所はわかりました。</p> <p>新聞等の発表では3月くらいを目途に候補地を決めたいと発表になって</p>

	<p>います。昨年度から延期になって、最新では3月を目途に発表となっておりますけども、その辺は、今後まだ延期する予定なのか、3月に決める予定なのか。</p> <p>と、言いますのは、色々な意見が皆さんあると思いますけども、色々な意見を言って、実際にここに来るのか、来ないのか、そのようなことを永遠にお話ししていくのも、結局、雲をつかむようなお話しにもなってしまいますし、その辺のタイムスケジュールをお知らせいただきたいです。</p>
環境部長	<p>決定の時期につきましては、31年の3月を目指している状況でございます。その中で、先ほどのこちらを含めた2か所に説明なり、状況の判断なりをしていきたいと考えております。</p> <p>今時点で、いつまでに延ばすかとか、そこまでに決定するかという部分が質問の趣旨かと思っておりますけども、今時点では3月までに決定したいという方向で説明会なりを準備させていただければと考えています。何か所とか時期とか決定するのは、8市町で取り組んでおりますので、そのような過程を経なければならないというところはありますが、今の方針としては、3月までの決定を目指して進めている状況です。ただ、状況の判断ということが必要になろうかと思っております。</p>
参加者 B	<p>そこを目指して住民の方も色々な意見を出しながら、最終的には市役所で住民の意見や要望を聞きながら最終決定ということでもいいですね。</p>
環境部長	<p>今、仰っていただいたような、簡単に申し上げますとそのような考え方で、御意見を頂きながら判断していきたいと考えています。</p>
参加者 C	<p>前回も申し上げましたが、このごみ処理場の広域化、ごみ処理の広域化、これには大反対です。</p> <p>なぜ、葛巻、岩手町、南は紫波町、矢巾町からごみを集め、盛岡市に燃やさなければならないのですか。これがわかりません。</p> <p>私の周辺の住民に聞いても「そんな、ばかなことあるか。」と。</p> <p>各自治体が責任を持って自分たちが出したごみを処理する。これは当然のことだと。なぜ、そういうおかしいことをやるのか。</p> <p>しかもですね、ごみを燃やしたら絶対に環境は良くなりません。</p> <p>環境部長さんの話しを聞くと、武蔵野市でどうの、いい話しばかりするのですが、私は、問題がある話しをもっとしてほしい。</p> <p>一例を申し上げますと、今日配られた資料で、小学校のデータが出てますね。気管支ぜんそくとか。この中で、私は前回も指摘いたしましたが、一番ひどいのは、都南東小学校です。その次に、見前小学校。あの周辺はもっとひどいのです。</p> <p>土淵は、高速道の影響だと思いますが、小児ぜんそくは多いのです。県</p>

	<p>の平均は2%です。ところが、倍くらいあるのです。</p> <p>そういうデータをなぜ出さないのか。</p> <p>情報を操作している感が、住民と対話する場合に。</p> <p>そこで、不信感を持ったのです私は。</p> <p>情報を出すならば、悪いデータを出してほしい。</p> <p>市は、私達住民の健康を守る行政をやっていただきたい。</p> <p>健康被害はあるのです。</p> <p>老人は、特に、呼吸器がすぐにやられるのです。</p> <p>私も病院に通っていますが、どうか、健康に悪い行政はやってほしくない、これはお願いします。</p> <p>もう、引き下がりますけども、まずは一点だけ。</p>
環境部長	<p>1点ということでしたけども、各自治体でやるべきというお話もありました。データ、ぜんそくのお話しでよろしかったでしょうか。</p>
参加者 C	<p>都南東小学校とか、見前小学校とか、あの辺りのデータありますか。</p> <p>いただいた資料にはないのです。</p> <p>ところが、ここは多いのです。</p>
環境部長	<p>では、都南東小と見前小というお話でしたので、ここにデータがございましたのは平成25年度からの対応する部分をお話しさせていただければと思います。</p> <p>これは、児童・生徒数に対して保健調査で気管支ぜんそくにある方の人数が載っているわけですが、その割合についてでございます。</p> <p>都南東小学校については、平成25から30年度まで読み上げますと、「8.1 (H25), 6.1 (H26), 2.3 (H27), 2.3 (H28), 0.0 (H29), 0.0 (H30)」</p> <p>見前小については、同じように25年度から「5.5 (H25), 4.6 (H26), 4.7 (H27), 0.0 (H28), 0.0 (H29), 0.0 (H30)」</p> <p>というような状況になってございます。</p> <p>なお、補足しますと、今までも話題になっておりましたクリーンセンターの件、そして、こちらの土淵小中学校のデータということで資料は用意させていただいたということを御理解いただければと思います。</p>
参加者 C	<p>土淵も多いですね。それから、東松園小学校も多いです。</p> <p>それはデータとして出していただいています、今、言いました都南東とか手代森もそうなのですが、必ずごみ焼却炉か汚泥の処理場なのです。近くにあるのは。</p> <p>数値で何PPMとか、そのような議論をしますが、健康被害という性質でもって判定する方法もあるのです。</p>

	<p>ですから、ごみ処理を甘く見てはいかん。</p> <p>私達、土淵地区の住民の健康を守るというか、悪くしないという、そのような行政をお願いしたい。</p> <p>終わります。</p>
環境部長	<p>今、市内の学校の話もありましたが、どちらの場所といたしますか、候補地につきましても、お話しの後最後にありましたように、十分に配慮しながら進めさせていただきたいというのは、そのとおりですので、データのお話しでしたけども、そのように取り組んでまいりたいと考えています。</p>
参加者 D	<p>只今の質問に関連して、学校ごとのデータのやりとりがありました。それから、施設全体についての各分野にわたってのデータが出されている、この資料によりますとね。</p> <p>大変ありがたいと思うわけですが、実は、私たちの地域の健康などということは極めて関心が高く、集まりを持ったり、研究会を持ったりしています。その中で各種データが示されていますが、今日は持ってきていないのでお示しできませんが、必要があれば、その機会にお示ししたいと思います。そういうデータや勉強会等では、このデータよりもはるかに考えてもらわなければならないな、心配だなというような結論になっている。</p> <p>したがって、市役所でこういう立派なプリント作ってもらって本当にありがたいなと思いますけども、私たちもその結果をもって「いいぞ」というわけにはいかないで、私達、地域住民の立場からは、私たちのデータをも突き合せたりしながら、詳しく検討したいものだなと、そういう時間も、機会も作るぞ、それが大切だなという気が、今しています。</p> <p>それが先ほどのBさんの期待に応えることでもありますし、Cさんのお話しにも出ていることですので、ぜひ、そういう機会にしたいと思っています。</p> <p>その機会を持つということは、さて、どういう呼びかけで、どうしよかなとも考えていますが、推進協を窓口にして、この問題を検討していく住民の意思を問うたり、意見を聞いたりするということですので、推進協の役割や立場というのは、地域の人々の健康を守ったり、考え方を推進していく重要な立場でもありますので、ここに会長さんもいらっしゃいますけども、ぜひ、大坪会長さんを含めて、各地区の会長さん、市のデータを再度検討する、あるいは、勉強する「勉強会、学習会」等は必要だなと思いますので、ぜひ、その機会を設けていただきたいと思います。</p> <p>菅原さん、こういう要望は決して無理ではないですよ。</p> <p>両方のデータを突き合せながら「うん、なるほど」という当たりの線を出せれば一番いいことですよ。</p>

	<p>そう考えています。</p> <p>御意見，御指導ありましたら，一言お願いします。</p>
環境部長	<p>色々とデータなり，御心配いただきながら，このデータだけではないとは思いますが，検討を地域の方々として取り組んでいただいているということは非常にありがたいですし，必要な部分として真摯に取り組まれていることに感謝，敬意を感じるところです。</p> <p>やり方については，関係する方々と御相談させていただければと思います。</p>
参加者 E	<p>ごみ焼却施設に関して教えていただきたい。</p> <p>2か所が候補に挙がっているということでどちらかに決まるのでしょうか，今，御紹介したスペックで建設するということですか。</p> <p>例えば広域的な問題が崩れたから，予算的な問題で崩れたから，スペックを落として造るということもあり得るのか，というのがひとつ。</p> <p>もうひとつは，焼却したときに出る灰は，現在どのような最終処分を行っているのか，というのが二つ目。</p> <p>設備の老朽ということですから，いずれ，建てたからには最終的に壊してしまう。30年後，40年後はどうなってしまうのか。</p> <p>バイパスも，焼却場もそうですが，交通量が増えた場合の，子供たち，例えば16時までは車が乗り入れするとすると，横断歩道などを設置してということは考えているのですか。</p>
環境部長	<p>スペックということで，今の施設は6施設あるわけですが，今，我々で考えているのは概ね500トンの関係でよろしかったでしょうか。</p>
参加者 E	<p>紹介されたのは武蔵野市，ですから，それに対してということですか。</p>
環境部長	<p>施設の大きさや排ガスの設備とかも全部含めてという意味だと思います。</p> <p>事例としてお出ししました武蔵野市の場合は，どちらかというところ，発電といいますか，防災の部分を中心に考えた造りになっていると思います。</p> <p>と，言いますのは，東京都という大都市圏の街中の施設ですので，そのような使い方を考えられたと思います。</p> <p>先ほど，生駒市の例も紹介させていただいたように，排ガス等の対策については，この武蔵野市も含めて最新のレベルのものに取り組んでいきたい。自主基準についても，そのような部分を考えながら設定していきたいと考えています。</p> <p>灰のことですが，今は6施設ありますように，それぞれ処理されておまして，今時点で考えているのは，今回こちらの施設に最終処分場までとかということではございません。あくまでも焼却施設です。</p> <p>灰についても，今ある市町の最終処分場に埋め立てるのが想定です。</p>

	<p>30年から40年後のお話のことだったと思いますが、この6施設についても建てた時点から何年後かには必ず壊れるということではございませんが、概ね想定されて30年から40年という中でやっています。</p> <p>今回新しく考える施設についても、今の全国なり、先ほどスペックのお話しもしたように、施設としては、1回造って何もしなければ30年、40年というよりは、15年、20年くらいというようです。それを、途中で基幹改良といいまして、炉の辺りとか造り直して30年、40年持たせる、2サイクル分くらいやるのが通常のようなようです。ただし、その後の年数を何年に設定するかということについても、概ね2サイクル分くらいは当然考えるべきだと思っているのですが、その他の施設もありますので、該当する候補地の地域の皆さんと、どのような施設になって、それは焼却施設だけではなくて、周辺の部分もどのようにしていこうかという部分も含めて、何十年後かということも一緒に考えていかなければならないだろうと考えておりまして、何年後に必ず無くなるとか、何年後には必ず別なものが、ということも含めて御相談したいものと考えています。</p>
建設部長	<p>横断歩道等、あるいは信号の時間とかいうことなのかなと思いますが、ここに焼却場ができたとしてもかなり先の話しといったことになります。</p> <p>交通量は毎年変化してまいります。</p> <p>道路ができることによっても変化するという部分もありますので、その都度、横断歩道の必要性や、信号現示とかあわせて検討していくことになると思います。</p>
参加者 E	<p>先ほどの3つ目の質問のことですが、例えば、一瞬的なデータでダイオキシン量がどうだとかというのはわかるのですが、蓄積されるというのはないですか。その周辺部に。</p>
環境部長	<p>ダイオキシンとかほかの有害物質も含めてということですね。</p> <p>こちらにあるのが、(資料6の)13ページのところに表があります。</p> <p>この中で御理解いただきたいのが、煙突から出るガスの状態で、そのあと、気体とばいじんのようによく細かい量的なものもありますが、重くて煙突から下に落ちていく部分と、拡散という部分との割合が違ってくる分があるかと思います。</p> <p>その中で、どの程度の施設が影響あるかということ、先ほど申したように、新しい施設ではこのような状況にあるようだという参考をしながら、考えながらやっていくわけですし、このような施設の場合は環境影響評価を必ずやらなければならないことになっていまして、それを3年くらいかかるとは思いますが、行った上で、その過程もデータを公開しながらという形になるようですが、流れとしてあります。</p>

	<p>今の御質問は、出たものが周りに溜まっていくのではないかというようなお話だったと思いますが、ガス状のものは拡散していくので、この場所にだけあるということは無いと思います。ダイオキシンを代表的にした御質問でしたが、クリーンセンター周辺でも測っています。平成10年に建設して、煙突から出る物のほかに、先ほど15ページのところに円心上の図があるかと思いますが、この中で、土壌調査地点と言いまして真ん中よりも上のところで継続して測っているという状況が続いておりまして、平成9年から4年に1回測定しています。</p> <p>その中で環境基準が1,000ピコグラムの単位になるのですが、値としては、1.6から4くらいのすごく低い値でもって推移しているという監視を続けている状況ですので、直接の答えになるかどうか、溜まっていくかということについては、そのようなレベルではないという考え方だろうと思っています。</p> <p>冒頭でお話しさせていただきましたが、専門家の方々にも来ていただいていますので、補足させていただきます。</p>
<p>日本環境衛生センター</p>	<p>環境に関しての排ガスの考え方として、一般的な考え方をお話しさせていただきますと、煙突にしても、車の排ガスにしても、換気扇とか小さいレベルにしてもそうですが、煙突内から出して薄めて環境中に排出してそこで管理するということが今の考え方になってきています。</p> <p>例えば、煙突から排出された排ガスが一方的に溜まっていくかというのと、そうすると出した後に影響が大きくなってきてしまうので、環境中の考えはそのような（総量の）考えはとっておりません。</p> <p>どのような考え方をとっているのかと申しますと、例えば、風であるとか、雨であるとか、それから土壌中の細菌の反応であるとか、空気中の化学反応であるとか、そのようなもので消されていく、薄まっていく作用というもののバランスの中で管理していくという話になっています。</p> <p>もちろん、出さなければいいのですが、今の私たちの便利な生活の中では、一方的にゼロにするということは現実的ではないということで、出す量と減る量のバランスを考えながら管理していこうという考え方になってきています。</p> <p>それが、非常に高濃度での地域では、総量で規制しようというようになってきていますが、日本の全国地域では、そういった対策で環境濃度が下がってきていますので、そのバランスが取れてきている地域がほとんどではないかと考えております。</p> <p>局所的には高い地域は対策を採る必要はあると思いますが、そのような考え方ですので、一方的に溜まるというようなことはないということ</p>

	<p>を補足させていただきます。</p>
参加者 F	<p>資料を頂いたわけですが、家に帰ってから見てみなければわからないと思いますので、資料に出ていることを質問するかもしれませんので、よろしくお願いします。</p> <p>と、言いますのは、前回ですか、結局、前潟、上厨川だけの問題でもなく、地域全体の問題であろうと、そういうことで、推進協を通して、柴田副市長さん、そのようなことになりましたね、副市長さん。</p> <p>その場合、この推進協にどんな役割が入っているのか、と言いますのは、要するに、結論を託して推進協でまとめるという意味なのか、推進協の会長は、市の案内を受けてみんなへ連絡する場所であるのか、その辺、はっきりしなければ、何回も同じこと喋っても、結局、推進協とすれば、案内来たから出て、毎回同じようなことを聞いて、毎回同じような意味合いにしか取れない。</p> <p>その辺を推進協に託すのだと、結論は推進協へ挙げてくれという意気込みなのか、それとも、推進協はただ受けるだけすればいいのか、副市長さんからお願いします。</p>
柴田副市長	<p>推進協さんは、色々この地区においてまちづくりの関係で焼却施設を含めてですけども、このほかにも従来からあるJRの新駅とか、都市計画道路の整備、そういったものを含めてトータルでお話しをしたいという部分で推進協さんと相談をさせていただきながらテーマの設定とか、町内会の皆様に声掛けをしていただいて集まっていたとか、そのような部分で御協力をいただいているというところです。</p> <p>実際に、この計画を進めていくかという部分については、先ほどから説明していますとおり、新駅とか道路については御要望いただいている部分ですので、これについては予算の問題もありますし、国に要望するべきものもありますし、後はプログラムに載せなければならないという手順を踏まなければならないものもありますが、ぜひ、前に進めていきたいと考えています。</p> <p>上厨川の区画整理事業跡地の開発の部分で、先ほどから調整区域で普通では開発が進めづらいという部分もありますので、市としてはそこを何とか進める方法として、公共的な施設も組み合わせて、地区計画を立てて進めていけば方向も出てくるのではという部分で、今回のような案も考えているというものです。</p> <p>最終的にどのようにしていくのかという部分については、もちろんこのような形で皆さんから頂いた御意見を十分に踏まえながら推進協さんと御相談させていただきながらということになりますが、最終的には市で、こ</p>

	<p>ういう形でということで判断しなければならないと、市の責任でやらなければならない部分も出てくると思っています。</p>
参加者 F	<p>本来の筋はまちづくりなのですが、私が今聞いたのは、ごみに対しての意見で聞いたのであって、当然、様々な予算とかかかるということで、そこは当然推進協で出しますとかという問題ではないでしょうから、本来、私が聞いたのは、ごみの問題、要するに推進協は、ただ案内だけなのか、一応推進協でまとめて言えるだけの権限を持たせているのかということを知りたいのです。</p> <p>あとひとつ、ここの道路に対して、混雑するのは当然ですけども、もしここに決まった場合、最後までこの道路が混んだ場合なんとかするののかということに対して、担当課を残すわけですか。</p> <p>今の担当の方の説明ですと、だいたい造るまでに10年くらいかかると言われてますけども、そうなれば、いくら混んでも、後は知らんというような恰好で。</p> <p>私たちの生活道路なのです。救急車とか来た時にせっかくの道路が全然どうしようもなかった。</p> <p>何回も言っているように、10年も経ってどなたかがこの課に残っていますか。解散するのではないですか。</p> <p>それとも、出来上がるまで、お宅さん達は残っているのですか、課として。</p> <p>その辺を聞きながら、よろしくお願いします。</p>
環境部長	<p>これは、クリーンセンターの関係もありましたけど、過去にも同じような例があったときに、もちろん施設そのものの建設とか、直接的な窓口は環境部で行ってききました。</p> <p>クリーンセンターの際にも、周りに例えば道路整備を行ったり、歩道整備を行ったりとか、各施設の整備というのは、ひとつの部だけで賄えるというのは、各部と連絡調整という関係性を残してそれぞれの要望にやってきましたし、その際に、一覧表のこのようなことをやりますというものを作られました。その管理は環境部で担当部とやりとりをしながら、「いつまでにできたのか」とか、「やります」とかのような進捗管理をしてきた経緯はありますので、そのようなことが考えられるのではないかと思います。</p> <p>ひとつめの推進協さんとの関係のことについてですが、先ほど、副市長からの話にもありましたように、会場をお借りするとか、そのような設定の御協力はもちろん頂いていますが、最終的には、副市長が申しましたように市の責任、8市町の責任として決定、判断をしていくものですので、</p>

	<p>推進協さんに判断の部分とかの権限のお話しもありましたけども、そのようなことではなくて、あくまでも市として、8市町として、行政の取組として判断していくものとしていきますので、その部分は御理解を頂ければと思っています。</p>
<p>参加者 G</p>	<p>今まで、回を重ねてごみ処理問題については説明会を再三にわたってお聞きしていますが、未だに「賛成」という意見は一回もなかったということです。</p> <p>全てが、前潟の人達が「反対」なり、「勉強」という形で活動していますが、やはり、この辺については、前潟の方々の了解を得るためには、このような広いところではなく、前潟の公民館の中で前潟の人達を主体とした説明会をしていただければ、細部にわたっての納得のいくまでの説明をしていただければありがたいと思います。</p> <p>私が賛成している意見を申し上げますと、ごみ焼却場の施設を造るにしても大変なお金がかかるわけです。3市5町で案分した形での工事費の持ち出しをすると、大変やりやすくなるということです。</p> <p>この辺については、副市長さんも御理解いただけると考えています。</p> <p>やはり、盛岡市単独で新しいごみ処理焼却場を造ることになりますと大変なお金です。</p> <p>これを3市5町の中で、お互いに持ち寄って工事をするということになりますと、市の財政的にも楽な面があるかと思っています。</p> <p>そのようなことで、今後とも、この問題については、交通問題についても葛巻なり、二戸の方から来るにしても、高速道を使いますと上厨川に焼却場ができますと、一般の市民に対してはあまり迷惑をかけないだろうと考えています。私なりです。</p> <p>反対意見という意見もないわけですので、前潟の方々を主体としたもう少し詳しい勉強会をしたほうがよかろうと思います。</p> <p>副市長さん、よろしく申し上げます。</p>
<p>柴田副市長</p>	<p>前潟地区とか、地区に限っていろいろ本格的に動き出すことになれば地権者の方を対象に説明会をしなければならぬ場合もでてきますし、道路でも駅でも同じです。色々な形で焼却場に限らず様々な事業を進めていく中で必要が出てくる場合がありますが、その場合は当然ですが関係者の方々に個別に御説明していく、御理解いただいていくという作業が必要になると思います。</p> <p>今の、前潟地区で反対の意見が多いのではないかという御質問であったと思いますが、その部分については、そのような形でやるほうがいいのか、全体の6町内会でやることにしていましたので、そこから外れるとい</p>

	<p>うことになりますので、そのような形が可能か、必要かという部分については、推進協の各会長さん方とも御相談させていただきたいと思います。</p> <p>事業費の関係ですが、盛岡市に限ったことではなく、広域で集約しているという話は、8市町全体でこれから税収や人口も減っていく中で、新しい施設を建てなければならないという部分に対応するためには、広域化、集約化という部分で、みんなで経費を出し合って建設をし、運営をしていくと安定的に将来にわたって運営していくという方法が必要ではないかという形で広域化を進めている状況です。</p> <p>なぜ、盛岡なのかというお話もありましたけども、ごみの量では現状で6割以上が盛岡市のごみとなりますし、8市町の地理的な条件を見ましても、交通の便というお話もありましたけども、やはり盛岡に建設することをお願いしたいというのが8市町の首長さん方のお話でございまして、その辺を考慮した上で候補地を御相談させていただいているというような状況です。</p>
<p>参加者 H</p>	<p>今回、市で環境データを出していただいたことについては感謝いたしますし、色々と前回は懸念のある方もいらっしゃいましたが、ある程度、客観的なデータで御理解いただけているのかなと思いましたが、まだまだ違うという方もいらっしゃるようです。</p> <p>専門家の方々もいらしているので、通常環境基準に対しての、ここに出ているばいじんなどの色々な項目がありますけども、もっとほかにデータあるようなお話もありましたけども、細かい基準と言いますか、調べる項目があるのか、その辺をお知らせいただいて、通常であれば、どういう環境基準である程度の量まで、ここにも載ってましたけども、ごみ処理場の所で、各地区で問題が起きていないというお話もありますので、その辺のデータを出していただきながら、御懸念のある方々に御納得いただきたいと思います。</p> <p>後、上厨川のあそこの地区をこのまま野放しでいいのかという大問題が残っていると思います。</p> <p>確かに、色々と御懸念される方もいらっしゃいますけども、あそこのまま、このまま10年、20年と置いてしまっていて、それこそ、防犯、防災上いいものかということも考えていただきたい。</p> <p>もうひとつ、技術的な問題を言えば、稼働するまでにあと10年ですよ。10年経てば、さらに良い設備ができるようなことになるので、環境に関しては、もっと懸念が減ると思います。</p> <p>ぜひ、その辺も含めて御検討いただいております。</p>
<p>環境部長</p>	<p>今回5項目ほどですが、それ以外の項目もというお話かと思いました。</p>

	<p>クリーンセンターでは、臭気とか何項目か、先ほど御紹介した公害防止協定に基づいて松園、上米内の方々が入った組織で毎回データを出して検討していただいている経緯がありますし、そのデータも公開されていますので、その辺の御紹介ができればいいかなと考えていますので、よろしくお願いします。</p>
参加者 H	<p>全国各地の状況などもわかれば教えていただきたい。</p>
日本環境衛生センター	<p>汚染物質ということで、色々とデータを示させていただいています。物質というのは数限りなくありますが、データとして示しているのは私達の生活において健康を害するようなものについては、法律で定めて排出を規制しています。</p> <p>今日示しましたのは、基準値はありますが、さらに低い値で管理しているということ、まずは御理解いただきたかったと思います。</p> <p>それから、10年後だと技術は進歩しているのではないかという御質問も頂きました。</p> <p>これにつきましては、まさに御指摘のとおりです。</p> <p>そのような中で、ごみ処理施設の建設ということについては、図面を描いて、このような物を造ってくださいということではなくて、「性能発注」ということを行います。</p> <p>性能を示して、そのような性能を満たす施設を建設しなさいと、さらに提案して良いものがあれば取り入れるということをしています。</p> <p>各所のデータにつきましては、環境省で、物によっては、例えばダイオキシンとかは測って定期的に報告するようにと、全国的に集計しています。さらに、今回、市の資料にも示していますが、各自治体が情報の透明性というものが非常に重要ですから、ホームページで状況を公表していますし、必要でしたら私共にも命じいただきまして、皆様が必要なデータをきちんと集めてまいりたいと思います。</p>
参加者 I	<p>平成31年3月31日までに方向性を決めるということで説明があったと思いますが、この後の具体的なスケジュールとしては、説明会とかどのような形になるのか。</p> <p>決定するにはどういう形での決定になるのか、例えば反対の方がいても市のほうで方向性を決めるのか教えていただきたい。</p> <p>今回、インフラ整備の部分とごみ処理施設の2つの議題という形になっていると思いますが、例えばごみ処理施設がなかったとしてもインフラ整備はやる方向になるのか教えてほしい。</p> <p>私たちの税金でやることになると思うのでインフラ関係というのは、ごみ処理をやるからというのとは別物になるのかなと思うので、そこがうま</p>

	<p>く被せている、地域に対するばらまきのような物に私は感じてしまうところがありますが、ごみ処理場がなくてもやるのかどうか、教えていただきたい。</p> <p>ほかの地域の地図が資料6の15ページと20ページにあるようですが、地図を見ますと、例えば20ページは秋田市が同じくイオンだったり、幼稚園だったり、小学校とか併設されているようですが、この地図は一般的に上が北になっていると思いますが、どちらかと言えば、盛岡を見ても防風林とかは西側にあつて、西から東に風が吹くのかなと思いますが、盛岡市の地図で見ますと、西から東のほうを見ると、保育園があつたり、土淵小・中学校があつたり、団地があるのかなと思いますので風向き的には街のほうに来るのかなと思いますが、そういうことから言えば、あまり適した場所ではないのかなと、ごみ処理場を設置するのには向いていないのかなと個人的には思いますが、その辺を教えていただきたいと思います。</p> <p>個人的には、ごみ処理場の建設には反対したいと思います。</p>
<p>環境部長</p>	<p>スケジュールの関係でございます。</p> <p>本日、こちらに土淵地区全体のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会ということで伺っておりますが、今の御質問は焼却施設の決定のお話かと思えます。</p> <p>それについては、3月中の目途で決定を目指しているのは変わりません。それ以外の説明とかについては、まだ、日にちとか決定しているものではありませんが、この20ページを見ていただいたように秋田のほうへの施設見学を早々にやりたいということをもまずは考えているものでございます。皆さんに周知する期間とかありますので、明日、明後日ということは無理かもしれませんが、数週間の中にできれば設定させていただきたいと考えております。その後、先ほどから、説明会なり、懇談会の持ち方の提案もありましたので、できるだけ組み込めるように考えていきたいと思いますが、まだ具体的には思っております。</p> <p>ただし、まだ、ひと月、ふた月とはいえ、ありますので、1回や2回の場面の設定というのは予定していきたいと、現状で申し上げられるのはこのような関係です。</p> <p>それから、反対があつても決めていくのかという話が二つ目だつたと思えます。</p> <p>判断のほうについては、説明会なり、懇談会なりを通じて考えていきたいということをお話させていただいているかと思えますが、今、最後にも反対という御意見がありました。</p> <p>私達とすれば、やはりこの中でこのような状況であるということさら</p>

	<p>に理解を深めていただければと思っていますし、もちろん続けさせていただければと思います。</p> <p>全体の中で候補地を選ぶ際の、最後の決定の考え方については、総合的な評価ということで前にも決めさせて、進めさせていただいていますが、その中には、例えばコストとかという部分も入っていますが、そして、地域の方の御理解というのものも、もちろん入っています。</p> <p>ただ、その一つひとつの項目というよりは、全体としてこちら様のタイトルにもありますとおり、地域にとってプラスになるのではないかなという御提案をさせていただいていますし、そのように繋がっていくのではないかなという部分も行政の判断のひとつとしていかなければならないだろうと思っています。</p> <p>最終的には全体的に判断した上で、決めていきたいと思っているところでございます。</p> <p>次に、西からの風の話だったと思います。</p> <p>例えば、クリーンセンターのところでもそうですが、气象台といいますが盛岡の概ねの風向きといいますが、確かに地形的に西から吹くとかと、地形的に東から、山とかそのような部分もあろうかと思いますが、全体的に盛岡の場合は南とか、南南東辺りから吹く風というのが年間を通じて多いというデータがありますので、概ねそのような形かなと、ただ、繰り返しになりますが、地形的な面で、その部分で場面、場面であるということはそのとおりの部分もあろうかと捉えています。</p>
建設部長	<p>補足になるかと思いますが、インフラ整備の話がございました。</p> <p>新駅については以前から要望を受け、我々でも調査していますので、これについては我々としては進めてまいりたいと思っていますし、通学路の歩道整備についても積極的に進めていきたいと思っています。</p> <p>都市計画道路については費用もかかるということですので、まずはプログラムに位置付けなければならないということになります。</p> <p>我々とすれば、なるべく皆さんの御要望を受けながら位置付けを考えていきたいと思っていますし、今回は、全体のパッケージのような形でお示ししているわけですが、このように色々なものを含めて整備ということになれば相乗効果として、地域全体に賑わいが広がっていくものと思っています。</p>
参加者 I	<p>最後の所で、全部含めて賑わいをということですが、正直、資料としては、資料5なんかも賑わいのあるように見えるのですが、これも資料の見せ方かなと、正直言うと、ごみ処理施設とかは賑わいがあるものではないと私は思います。</p>

	<p>これは（資料５），お祭りか何かのイベントのときのものかと思いますが，普段，賑わいがあるのかなと思いますし，数字とかについてもですが，今，風の話がありましたが，私はこのようには思えないのですが，それも，もし次に出す資料がありましたら，時期的にどういう風向きで，風が流れて，排ガスがどっちのほうに流れていくのかという資料もぜひ添付していただきたいと思います。</p> <p>反対署名，このようなものも，確かに前回あったと思いますが，（反対署名に対して，資料の中に）どのように活用されたのか私には理解ができませんが，この辺があまり反映されていないように感じてしまいますが，ぜひ，このようなこともしっかりと取り入れて判断してほしいと思います。</p>
環境部長	<p>先ほど，申しあげましたのは盛岡気象台の代表的なお話をさせていただきましたので，次以降の場面があった際の提供依頼のお話と思いますので，その際には御用意させていただければと思います。</p>
参加者 J	<p>確認したい事項と，要望とあります。</p> <p>まずは確認したい事項となりますが，インフラ整備についての話ですが，進めていくというお話がありましたが，ごみ処理場を建設することによってそれが優先的に整備されるということによろしいかということがひとつ。</p> <p>ぜん息の話ですが，先ほど都南方面の学校の数値を出していただきましたが，ごみ処理場とは関係ないのかなと私的には思いましたが，現時点で，市のほうでも，ごみ処理場とぜん息は関係ないという認識でいいものかということを確認したい。</p> <p>要望事項についてですが，新駅の整備についてですが，南口の整備を検討しているようですが，北口を整備していただけないでしょうか。</p> <p>これは想定が線路が東西にあるので，そちら側で駅まで入るといふ，北側に住んでいる方について，東西の踏切から南口に入っていくという想定かと思いますが，通勤する立場，通学する立場からすれば，北口があったほうが利便性がいいのかなと。</p> <p>もうひとつ，道路整備の話ですが，やはり交通量が増えるということがありますが，現時点でも抜け道として学校への通学路が使われている。</p> <p>現時点で道路の幅が狭い，すごく児童，生徒が危ない状況にあるというのが現状にありますので，道路整備を優先していただきたい。</p> <p>あとは，ごみ処理場の関係ですが，ごみ処理場の周辺に運動施設等の建設を検討しているようですが，野球場や屋内練習場，陸上競技場，体育館かと思いますが，この施設を建設した場合，土淵地区の児童，生徒あるい</p>

	<p>は住民が優先して使用できるものかどうか、そちらの点、できればそちらを優先的に使用させていただきたいというのですが、その点を確認したいと思います。</p>
建設部長	<p>インフラ整備につきましては、ごみ処理とは別に我々としては進めてまいりたいと思っているのが基本的なところですが、</p> <p>新駅の北口の要望は確かにあると思いますが、現在、商業施設があるのが南口と、施設が南口ということで、そちらの入り口を考えております。</p> <p>北口を造るためには、自由通路を建設する必要があります。</p> <p>そうなりますと、また大きな費用がかかってくるということもありますので、まずは駅を造って、周辺の開発の動向を見ながら次のステップに進めていければと思っております。</p> <p>学校前の道路の拡幅のお話がありました。</p> <p>これは要望として承りたいと思います。</p> <p>これについては、東西の道路がないものですから、抜け道として使われるということがあるかと思えます。同時に、東西に都計道の計画もあるわけですから、どちらがいいかということもあるかと思えますので、その辺りは検討してまいりたいと思います。</p>
環境部長	<p>ぜん息とごみ処理施設の関係性だと思います。</p> <p>データでお示したように、私達とすれば関係が無いのではないかと考えておりますし、そのような認識です。</p> <p>今日、専門家の方も見えていますので、また捕捉をお願いできればと思っております。</p> <p>最後に、例えば、野球場とか屋内施設とかできた際の優先利用というお話であったかと思いますが、現時点でそこまで決めることではないかもしれませんが、地域の方とお話合いの中で、そのような決め方もできるのではないかなと私達としては考えています。どのような施設がいいのか、例としてありましたが、ほかにも御紹介させていただいたように温泉施設とか、色々な施設がありますので、どのような施設がいいのかということも含めて、運用や料金、どういう形がいいのかという方向性も含めて相互的に地域の方とお話合いができればと。</p> <p>その中で、優先的に使っていただくという手法もひとつあるだろうと思っております。</p>
日本環境衛生センター	<p>今のぜん息のお話について補足させていただければと思います。</p> <p>先ほどの資料6の中で、例えば12ページを御覧いただきますと、基準についての話がありました。</p> <p>これは、ぜん息でいいますと、公害のお話で有名なのは四日市ぜんそく</p>

	<p>とかで、二酸化硫黄が問題となって出てくる症状です。大気中の濃度が高濃度のときに出てくるということで、大気中の濃度をある程度の数字よりは下にしなければならないということで、健康影響上を考えて基準が定められました。</p> <p>その基準が「環境基準」です。</p> <p>それを達成するために各事業所、工場ですとか、ごみ焼却施設もそうですが、出していい濃度を定めるということがとられてきました。</p> <p>そのようなことがとられてきて、日本の環境基準に対する達成率というものはかなり上がってきておりました、多くの物質では100%近いもの、少し前に設定されたPM2.5に関しては90%くらいということで上げているということで、段々、環境中の濃度が下がってきている状況です。</p> <p>そのような環境中の濃度が下がってきているという状況において、健康影響などの調査も行っているのですが、逆に特定しづらい状況になっています。</p> <p>原因が特定しづらいという状況になっておりました、例えば、生活習慣であるとか、個人個人の感受性であるとか、そのようなことが影響して増減するレベルになってきている。</p> <p>高い発生率とか、多くなったり、少なくなったりというレベルは、ほかの要素を踏まえて増減するようなレベルになってきており、特定しづらいということになっています。</p> <p>先ほどの資料の14ページを見ていただきますと、上の表の青い表を見ていただきますと、左から列がいくつかありまして、二つ目の列のところでは先ほどの環境基準を達成するために達成すべき排出基準、どれだけ出してもいいよと定められた基準がありますが、ごみ焼却施設などはさらに技術的に下げられるところまで頑張って下げようよというようなところで、さらにもう一つ右の基準で、さらに低い濃度で出すように努力をしてこれまでできております。</p> <p>そのようなことを考え合わせますと、ごみ焼却施設からの距離だけでお話しをするということではしづらいのではないかと、今はそのような影響は無いのではないかとというふうに考えているのが私共の見解です。</p>
<p>参加者 J</p>	<p>今のお話で、原因が特定しづらいということですが、もし、ごみ処理場ができて、土淵地区でぜん息の生徒なり、児童が増えた場合、市でしっかりと調査を行うのかどうか、これは行うべきだと思うのですが、そのことを約束できるのかどうか。</p> <p>今のお話ですと原因が特定しづらいと市が逃げる可能性が、心配が出るので、それは約束するべきだと思うのですが、それはどうですか。</p>

	<p>もうひとつ、こういった公害も含めた問題について、全てが安全であると、さらにインフラ整備も本来であれば全然関係無いのですが、優先的に進めてもらえるのであれば私は賛成です。</p> <p>ですので、今の「逃げない」というところも確認させていただければと思います。</p>
環境部長	<p>環境モニタリングもクリーンセンターの例も出させていただきましたが、今の別な項目としてしっかりと約束してほしいということだったと思いますので、例えば今でいえば、ぜん息の率かもしれませんが色々な調査方法も検討しながら、調査していくということは継続していきたいと思えますし、建設となった際の運営も含めて御相談しながら、調査ということも盛り込んでやっていきたいと思っております。</p>
参加者 D	<p>確認をしたいので、たくさん意見が、考えが出されておりましたので、確認したいのでお願いします。</p> <p>窓口のお話が出ました。</p> <p>推進協さんを窓口にするということですが、その前があったはずですが、前は西部公民館で広報に基づいて、立候補する土地がないかというような働きかけがあり、上厨川の土地を応じたという経過があったと思えますが、そこで、その施設を造ってくれ、どうぞこちらにという立候補というか、案内があった。</p> <p>つまり、推進するための組織ができたのかなと思ってございますが、教えてくださいね。</p> <p>そして、その組織が立ち上がらない、役員が辞退した、そこでその組織が立ち上がらないので、推進協さんに窓口を移したという経過があるやに聞いています。</p> <p>と、すれば、当方にこの施設を迎え入れる立候補、そういう役割の組織が立ち上がらないで、推進協に窓口を交代したということは、交代した推進協さんは、その組織を迎え入れるための活動をする、それを引き継いだということにはなるはずがないですよ。そうなったら、おかしいですよ。</p> <p>そこで、すれ違いが起こらないように確認をしておいていただきたいと思えます。</p> <p>推進協さんのやるべきことは、その住民の納得のいく、そういう集まりなり、説明なり、機会なりを十分保障していくということが、大事になると思えます。</p> <p>データの話も先ほども出ましたけども、これは、その推進協さんで学習会等々を組織するのであれば、詳しいデータをお示しできるということに</p>

	<p>なりますので、ぜひ、その機会の設定をお願いしたいと思います。</p> <p>確認ですが、施設そのものと、まちづくりと称してこれも造る、あれもあるという各地のデータを写真で示してはいますけども、そのうちのどれとどれが、盛岡の場合には、上厨川の場合には考えているのか、設置するのだということは無いですよね。</p> <p>これは、ある程度、予算に目途をつけてこれをやるのだということまでは、お示しにはなっていない感じがしましたので、以上の確認をお願いします。</p>
環境部長	<p>先ほどの副市長の発言、私の発言を含めてですが、確かに最初は上厨川、前潟さんとのお話を500mの範囲で考えたということで、ごみ処理の関係ではそのような説明会をさせていただきましたが、今日お集まりの、ふれあいと賑わいのあるというところでは、前々からごみ処理施設ができる、できないとか、話ができる、前々から、例えば駅の話とか、色々な地域の課題があって、やはり全体として取り組むべきであろうと経緯のところが大坪会長さんのお話のところでもあったかと思しますので、そのような中で、土地区画整理跡地の利用のひとつとして、私達関係部がお伺いしているというように考えておりますので、先ほど一つ目の確認という意味で、元々引き継いだものではないということですねという御確認と思いましたが、それはそのとおりで理解しています。</p> <p>二つ目として、データ等の確認、勉強会等のお話だったと思います。</p> <p>その辺の進め方につきましては、繰り返しになりますが、御相談させていただければと思っています。</p> <p>何を造るか示されていないというのは、焼却施設に付属する施設、例えば、体育館とかそういうお話があったので、そういう部分の提案が無いよというお話でよかったかと思いますが、今の時点ではどういう形のものを作っていけばいいのかということを、地域の方と御相談させていただきながらと、ごみ関係のほうではそのように考えています。</p>
建設部長	<p>そのほか、道路等のインフラのこともあるのかなと思いますが、説明は先ほど申し上げたとおりで、進めれるものは進めていきたいと思っています。</p> <p>ただ、全体の中で、クリーンセンターのときもそうであったように、こういったことをやっていきますというような協定のようなものがあるのであれば、我々インフラを補う部門としても、その中にどれが入るのかということはこれからの検討になると思います。</p>
参加者 K	<p>実際的に、施設が建つ、特にごみ焼却施設となりますと。地域住民とすると、やはり不安な要素が多分にあるわけです。</p>

	<p>そのような中で「賛成」とか「反対」ではないのです。</p> <p>私達にどのような「メリット」「デメリット」があるのか知りたい。</p> <p>市のほうからの説明ですと、ほとんどがメリット的なこと。</p> <p>こうなるといいですよ、ああなるといいですよという感じにしか聞こえない。</p> <p>ところが、デメリット、私達はデメリットの情報を知りたいのです。</p> <p>例えば、ごみ焼却した後、500トン燃やした場合、灰はどのくらいでてくるのか、その灰はどこに持っていかれるのか。</p> <p>「想定外」のこと、例えば、福島原発も想定外のことが起こってあのような事態になったわけです。</p> <p>「想定外」が起きたときに、市がどのように対応するのか、想定外のところを知りたい。</p> <p>また、先ほどの、交通量の調査をされたら、25,000台でしたか、1日に走っていると。</p> <p>その中で。ごみ焼却場の車が600台弱の出入りがありますよと。</p> <p>25,000台は毎年減っていくのではなく、増えていくのですよ。</p> <p>ごみの焼却が増えてくると、これも段々と増えてきます。</p> <p>全部、ハイブリッド車で走ってくればいいが、川崎では電気自動車を検討しているというような状況であれば、早急に、検討ということであれば、5年、10年ではきかないとは思いますが、そのようなデメリット的なところを地域住民は知りたいと思うわけです。</p> <p>クリーンセンターの件とか、武蔵野の部分のお話が出ましたけども私が聞いたところによりますと、武蔵野市では確かに施設周辺は素晴らしくなったということですが、（施設に）入ってくる車、これが今にも廃車になるような古い車で、排気ガスを出して入ってくると。その台数も何万台と。</p> <p>そういった部分とか、どのようにお考えになられているのか、聞きながら、私等、地域とすればこの辺は許容範囲だよねと、これはやっぱり協力していかなければならないよねとか、地域を説得できるような説明をしていただければよろしいのかなと。</p> <p>反対者だけを集めて説明すれば良いという問題ではないのです。</p> <p>私達はその情報を知りたいのです。</p> <p>懇切丁寧に説明していただければありがたいので、よろしくお願ひします。</p>
環境部長	<p>色々と例示しながら出していただきました。</p> <p>今回も前回の御質問を頂いた中で、取りまとめた格好で出させていただきます。</p>

	<p>いていますが、今のような御発言、内容も参考にさせていただいて、どのようなデータで御提供すればよろしいか検討させていただきながら、皆様にもお示しさせていただいて、御判断をできるような状況のものもお出ししていきたいと考えています。</p>
参加者 L	<p>小学生の子供が2人おまして、ぜん息なのですが、基本的なことを教えていただきたいのですが、設置される、燃焼に使われるタイプは、今の松園にあるクリーンセンターと同じタイプなのか、違うタイプなのか。</p> <p>溶融炉なのか、ストーカ炉なのかで主灰、飛灰、スラグとか先ほど仰いました廃棄物の問題も出るのですが、燃えたカスの部分は、県央ブロックのごみ・し尿の広域化の協議会のほうで分散して持ち去っていただけるのかどうか。</p> <p>若しくは、盛岡市に灰が留まるのかという部分をお聞きしたいのですが。</p>
環境部長	<p>ストーカ炉か、溶融炉かという炉のタイプの御質問が一つ目だと思います。</p> <p>炉のタイプについては、建設に向けて先ほどスケジュールの関係で、建設が最後になるわけで、その前に設計があって、環境影響評価という環境を確認する大事なところがありますが、そのあたりでどういう炉の形式が良いのかということを決めていきますので、現時点ではまだどちらというものではございません。</p> <p>二つ目の灰の部分については、先ほども少し触れさせていただきましたが、盛岡地域に焼却施設になったとしても灰が全部盛岡で処理するということではなくて、先ほど、まだ想定とは言いましたが、8市町で何か所かのそれぞれでやっている灰の埋立地がありますので、そちらに量の按分に応じて持ち帰っていただくということを想定しています。</p>
参加者 L	<p>地域住民の方々も、詳しいこと専門的なことはわからないことが多いと思いますので、その辺は今後丁寧に説明していただいて、特に子育て世代のお父さん、お母さん方は環境に関しては関心が高いと思いますので、これからもよろしくお願いします。</p>
参加者 C	<p>前回も私意見を述べさせていただきましたが、どうしてもわからないのは、なぜ、この街中でイオンもあり、商業施設もあり、レストランもあり、住民がたくさん住んでいる、ここにごみ焼却施設を建設しなければならないのか。</p> <p>私の頭の中には、世の中の色々と問題があるのです。</p> <p>生物的にはあるのです。</p> <p>なぜ、山、森林、木の生えたね、要するに、有毒なガスを含め、二酸化</p>

	<p>炭素とかを解消する，減少させてくれる，そういう地区になぜ建設できないのですか。</p> <p>少し遠くなるかもしれません。</p> <p>専用の道路を造ればいいのです。</p> <p>今ある生活道路は困るのです。ここに住んでいて思います。</p> <p>今でさえ渋滞が起こって，この件をぜひ考えていただきたい。</p> <p>もう一点，余分なことかもしれませんが。</p> <p>松園に，クリーンセンターに住んでいる方が言うのです。</p> <p>焼却施設ができたあと，タヌキもキツネもこない。鳥もほとんど飛んでこないそうです。できれば調べてみてください。</p> <p>私はクリーンセンターに行って色々と勉強してまいりましたが，やはり，生物的には色々な影響があるとは私は思っています。</p>
環境部長	<p>先ほどから，ぜんそくとか課題のお話とか関連して重複する部分があると思います。</p> <p>全国の中での施設の状況とか，街中という意味で武蔵野市の例がいいのかなということに使わせていただいています，確かに東京の場合は，土地が無いからということがある，そのような背景もあろうかと思えます。</p> <p>技術的な面でも環境的な面でも，今の施設は住宅地にあっても大丈夫なレベルであるということもお聞きしていますし，そういう状況であって運転データも見ていただきながら，説明させていただいています。そういう前提があるからこそ，どの地点が良いのかというのを，また別な面では運搬のコスト，建設のコスト，全体的に検討した上での候補地の選定を進めてきたところです。</p> <p>どうしても人が少ないところが良いのではないかという御意見と思いますが，そのような技術的な環境面も含めて，さらに繰り返しになりますが，温暖化，災害が発生した場合に，そこに武蔵野の例もそうですが，集まっただけで，電気も発電していますし暖かい面とか，それから環境学習のお話もさせていただきましたけども，今はどこのごみ焼却施設等でも見学コースを最初から用意したり，そのような部屋を用意したり，子供達に小さいときから環境に興味を持ってもらう，そして，ごみ処理にも理解をしてもらうということをやらせていただいていますので，そのようなところを全体的に考えた上で，今ですと，どの場所においても大丈夫な位置付けな面もあってやられていると思います。</p> <p>広域化そのものの考え方とすれば，コストのほかに，環境負荷の面とか3Rも推進していきましょうという計画の中ではやられていますけども，分かりやすい面からすれば，そういう部分があるのではないかと私共として</p>

	<p>は考えています。</p> <p>クリーンセンターの住民のお話もありましたけども、なぜ街中なのかという部分については、何度も繰り返す部分になって申し訳ないのですが、色々な前提をクリアした中で対応できるとの判断のなかで、さらにエネルギーを活用してもらえると、近くであればこそ活用してもらえるとこの部分も大きいのではないかと考えています。</p>
<p>市長公室長</p>	<p>ほかに御発言ある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>十分にお答えできなかった部分もあろうかと思えますけども、それぞれ疑問等ございましたら、各部にお問い合わせいただければと思います。</p> <p>皆さんから特に質問、意見等無ければ本日についてはこの辺で閉会とさせていただきます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の懇談会を終了とさせていただきます。</p> <p>本日は大変ありがとうございました。</p>

—終 了—